課題研究　講義科目

科目名: ゼミナール（問題解決入門）欧陽ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師: 欧陽　菲		単位	4(2)
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化　（関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名:

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

出席と最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名：ゼミナール（問題解決入門）齊藤 聡ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師：齊藤 聡		単位	4（2）
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化　（関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名: ゼミナール（問題解決入門）齊藤弘通ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師: 齊藤　弘通		単位	4(2)
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化　（関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名:

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

出席と最終成果物の内容を評価します。

課題研究 講義科目

科目名: ゼミナール(問題解決入門)佐々木ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師: 佐々木 理恵		単位	4(2)
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化 （関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名:

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名：ゼミナール（問題解決入門）佐藤ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師：佐藤　美香子		単位	4(2)
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法、研究手法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化　（関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名：ゼミナール（問題解決入門）　末﨑ゼミ	ゼミナール 卒業研究	科目コード	EC03
担当講師：末﨑　裕康		単位	4(2)
		配当年次	3・4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象（結果、事実）の把握・問題の発見（不具合の明確化）、②問題の共有化　（関係する者が等しく問題と考える）、③問題認識（解決すべき問題の明確化）などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約５カ月間の履修期間に５回程度の会合（面接授業）を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：

科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス（アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など）と論文構成（資料・情報の収集、整理、引用など）に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物（ゼミ論文）」を作成できる。

成績評価の方法

プレゼンテーション・発表資料の内容・ゼミ内での討議への参加状況・成果物（ゼミ論文）の内容に基づき、総合的な評価を行います。